

支所だより

各総合支所管内での身近な出来事や話題などを毎月お知らせするコーナーです。

東予総合支所

〒799-1394 周布349番地1 TEL0898-64-2700 FAX0898-65-4363

「い〜い湯だな！ 山あいにたたずむ、本谷温泉」



本谷温泉館

国道196号線から、大明神川北側の土手を西に7kmほど行ったところ（庄内地区）の、まわりを豊かな自然に囲まれた山あいに静かにたたずんでいるのが本谷温泉館です。

本谷温泉は「伊予の三湯」と呼ばれ、道後温泉、鈍川温泉と並ぶ歴史ある温泉で、昔、舒明天皇、斉明天皇が入湯されたと伝えられる名湯として知られています。

泉質は、低張性アルカリ性冷鉱泉で、神経痛・関節痛・冷え性・慢性婦人病などに効能があり、温泉館本館には男女日替わりの岩風呂と木肌風呂、新館には露天の岩風呂と打たせ湯があり、それぞれ風情のあるお風呂を楽しむことができます。宿泊施設も完備されており、リピーターも多

くたいへん好評を得ています。

また、大明神川沿いに架かっている赤い「本谷出湯（いでゆ）橋」を渡ると親水広場、キャンプ広場、水車、展望所等の自然を満喫できる公園があり、春は桜が咲き、夏は若葉で一面緑に、秋には木々が赤やオレンジに染まるなど、季節ごとにまわりの山々は色を変え、四季折々の花や虫たちの声が訪れた人の心を癒してくれます。

毎年、夏には本谷温泉まつりが開催されており、餅投げ、カラオケ、盆踊りなどのたくさん催しが行われ、大勢の方で賑わっています。

入浴料は、大人300円です。これから寒くなってくる季節、ぜひ本谷温泉で心と体を温めに、そして日ごろの疲れを癒しに訪れてみてはいかがでしょうか。



明媚な本谷公園

丹原総合支所

〒791-0592 丹原町池田1733番地1 TEL0898-68-7300 FAX0898-68-4769

人間らしい生き方、
楽しく潤いのある暮らしを求めて 《福寿草合唱団》

毎週水曜日の午前10時が近づくと、佐伯記念館・郷土資料館の研修室からシルバーコーラス「福寿草合唱団」の笑顔とにぎやかな声があふれてきます。

この福寿草合唱団が誕生したのは1996年12月、社会教育活動における人権・同和教育事業の一環としてスタートし、今年で12年目を迎えます。

「高齢者の方を対象として、人権・同和教育の啓発活動をするとともに、できるだけ自分の生活と結びつき、生きる喜びにつながるような活動をとおして、人間らしい生き方、楽しく潤いのある暮らしを求めていきたい」という担当者の思いから、老人クラブの協力により結成されました。当時28名でのスタートでしたが、現在では50名近くに団員

も増え、高齢者の方々のニーズを大切に活動が行なわれています。

活動が始まって今日までに、「差別をなくする市民の集い」をはじめ「コーラスフェスティバル」「公民館フェスティバル」「丹原地域文化祭」への出演など、自分たちが学習したことを広く地域へ発信しています。

団員の皆さんの熱い思いが「福寿草合唱団」の歌声とともに差別をなくする仲間の輪を広げ、人権文化の根付いた明るく住みよいまちづくりに大きく貢献しています。



学習成果を披露する団員の皆さん

小松総合支所

〒799-1198 小松町新屋敷甲496番地 TEL0898-72-2111 FAX0898-72-4048

地域のきずなを強める獅子舞
《妙口原獅子舞保存会》

10月13日から17日に小松・石根小学校区で恒例の秋祭りが行われ、また石鎚地区では11月3日に諏訪神社で獅子舞が行われます。小松小学校区ではだんじりを持つ地域が多く、16日に小松小学校で統一かきくらべ、17日に三嶋神社で宮出し、宮入りが行われました。石根小学校区では、おみこし子ども相撲、だんじり運行など地域によってさまざまな秋祭りをしており、中でも妙口原地区では、妙口原獅子舞保存会が長年獅子舞を続けています。

獅子舞保存会が保存する獅子頭は160年前のものといわれており、その獅子頭を受け継いで獅子舞が行われてきました。戦争などで何度か獅子舞も休止しましたが、昭和50年に妙口原獅子舞保存会を結成し獅子舞を復活させました。

妙口原の獅子舞は、地域の子どもたちが「なぶり子」になり、太鼓に合わせて「ぼんれん」という房のついた棒を使って「獅子」を操ります。なぶり子と獅子が太鼓のリズムに合わせて一体となるのが難しく、練習は9月中旬から約1カ月毎日行われます。

獅子舞保存会の方は「獅子舞は、子どもから大人まで地域が一体となる良い機会になっています。今年は20代から30代の若手が遠方からも帰ってきてくれ、盛大な祭りができました。しかし、昭和50年に獅子舞を復活させた年代がまだ第一線でやっている状況なので、後継者のことが心配です。今後は将来を担う若い力が出てきてほしいですね」と、祭りを無事に終え、にこやかに話してくれました。

